

# 山 口 新 聞

平成 27 年 4 月 10 日 (金)

NO.149

農地・水・環境

## 守ろう地域の手で



149

の繁殖牛の放牧を開始し、農地の保全管理と地域の活性化に取り組んできた。

農村社会は「結い」「手間替え」といったさまざま

な扶助や協働の精神を培ってきた。しかし、経済成長

に伴い、講など金融の仕組

みは銀行に、介護や冠婚葬祭は外部サービスへ、ゴミ処理や災害復旧は行政の仕事に変わった。

かつての農村社会が有していた高度なコミュニティ機能は低下し、人間関係も希薄化してきている。

激変する社会状況の中で「環境に対する豊かな感性」「水土里の文化」をどう傳承していくか、難しいことだが、それがわたしたちの責務であると感じている。

(代表、福江史朗)

金曜日掲載

【メモ】代表 福江史朗

▽会員 180人、農家(110戸)、水利組合(5)、自治会(2)、老人クラブ(2)▽設立

2007年5月1日▽連絡先 山口市秋穂西2

029の3、福江史朗さん

0833・984・4612

山口の真夏を代表する風物詩・えび狩り世界選手権。クルマエビの養殖発祥の地と知られる山口市秋穂に、当クラブは位置する。多面的機能支払交付金の制度を活用し、地域ぐるみで水路の泥上げや農道の草刈りを実施している。

### 天田保全クラブ(山口市)

## 「水土里の文化」傳承へ



① 会員の皆さん  
② 水路の泥上げ作業